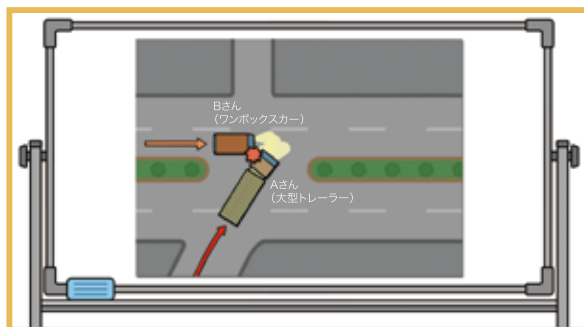


事事故例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役にたください。

事故に
至るまでの
状況

Aさん(男性、大型トレーラー、50代)は夜間に工事現場から出て、広い往復4車線道路を右折進行しようとしていました。道路には樹木が植栽された中央分離帯がありました。Aさんが道路に出る手前で一旦停止をして左右確認したところ、左右とも通行車両が見当たらなかったため右折を開始し、速度も15km/hほどに加速。すると中央分離帯を越えたところで、車線左方からきたBさん(男性、ワンボックスカー、20代)と出会い頭に衝突してしまいました。

事故現場
略図



事故の原因

Aさんが左右確認をしたとき、Bさんは下向きのヘッドライトを点けて走行していました。Aさんは、Bさんとの距離が離れていたうえ、少し高くなっている樹木がヘッドライトの光を遮っていたため、気づくのが遅れた

と推測されます。Aさんが中央分離帯の手前で一旦停止をして、もう一度左右を確認していれば事故は防げたものと思われます。

安全運転に向けて指導のポイント

車両相互事故で見ると、出会い頭事故は追突事故に次いで多く発生しています。また、死亡事故で見ると最多了。道路を横切るときは、繰り返し一旦停止をするなどして安全確認を十分行いましょう。今回の

ケースでは、誘導員をおくべきだと思われますが、いない場合でも、近くにいる仲間に依頼をして誘導してもらおうように努めましょう。

今月の安全メモ!

- ・出会い頭事故防止には、繰り返しの一旦停止と左右確認を徹底しよう!
- ・大型車両の出入り口には、できるだけ誘導員を配置しよう!